

14時30分解禁

平成25年7月 全国百貨店売上高概況

平成25年8月20日

I. 概況

1. 売上高総額	5,597億円余
2. 前年同月比	-2.5% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年6月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,233,095㎡ (前年同月比:-1.0%)
5. 総従業員数	82,103人 (前年同月比:-3.5%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -0.4%、1-3月 1.5%、2-4月 1.3%、 3-5月 2.1%、4-6月 3.1%、5-7月 2.1%

[参考] 平成24年7月の売上高増減率は-3.3% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

3か月ぶりのマイナスであるが、特殊要因(セール会期変動・休日増減等)を平準化した6月と7月の累計伸び率は+2.0% (店舗数調整後)と、夏季商戦通期の商況としては堅調であった。

今年7月は、太平洋側の空梅雨や東北・西日本の豪雨など天候が不順であったこと、多くの店で夏のセールを6月末に前倒しした反動があったこと、更には休日の前年比1日減などが影響して、主力の夏物衣料(-7.3%)を中心に苦戦する状況が続いた。一方、宝飾品・高級時計など高額商材が二桁増(美・宝・貴:+14.2%)と依然活況を示したほか、UVコスメ(化粧品:+1.7%)・涼感寝具・日傘・サングラスなどの盛夏アイテムも好調に推移したが、商況全体を押し上げるまでには至らず、7月単月としては前年実績を割り込む結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、増床・改装効果のある大阪を除いた全地区で前年比マイナスとなったこと、早期受注が堅調だった中元商戦は後半戦に入りやや減速(その他食料品:-2.7%)したこと、拡大基調が続く訪日外国人は円安やビザ緩和等の政策効果を背景に、売上・客数共大幅に増加(売上:+94.5%/客数:+70.2%)したこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇全国的に月の前半は高温で猛暑日となった所があった。東北地方では、梅雨前線が停滞することが多く、前線の活動がたびたび活発化し、46年以降最も降水量が多かった。下旬は北・西日本で局地的に記録的豪雨があった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日(" -1日/日曜・1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数129店舗)
①増加した:35店、②変化なし:25店、③減少した:69店
- (5) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上/有効回答数107店舗)
①増加した:7店、②変化なし:35店、③減少した:65店

全国百貨店 売上高速報 2013年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	559,708,528	100.0	-2.5 (-2.8)
10都市	376,369,027	67.2	-1.4 (-1.7)
札幌	13,249,981	2.4	-3.2
仙台	8,137,380	1.5	-5.6
東京	139,361,874	24.9	-1.0 (-1.6)
横浜	32,297,152	5.8	-2.7
名古屋	35,144,351	6.3	-0.1
京都	21,708,751	3.9	-5.2
大阪	79,798,494	14.3	2.1
神戸	14,721,856	2.6	-8.1
広島	13,365,127	2.4	-7.0
福岡	18,584,061	3.3	-1.6
10都市以外の地区	183,339,501	32.8	-4.6 (-5.1)
北海道	2,750,045	0.5	-3.5
東北	8,525,857	1.5	-6.0
関東	86,052,521	15.4	-4.8 (-5.5)
中部	14,147,629	2.5	-5.8
近畿	17,855,902	3.2	-4.6
中国	12,708,910	2.3	-2.4 (-5.6)
四国	10,589,801	1.9	-6.7
九州	30,708,836	5.5	-3.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	559,708,528	100.0	-2.5 (-2.8)
紳士服・洋品	33,586,461	6.0	-7.6 (-7.8)
婦人服・洋品	120,406,861	21.5	-7.5 (-7.9)
子供服・洋品	10,846,699	1.9	-12.4 (-12.7)
その他衣料品	14,752,120	2.6	-0.7 (-1.0)
衣 料 品	179,592,141	32.1	-7.3 (-7.6)
身のまわり品	67,826,794	12.1	-2.3 (-2.5)
化粧品	27,653,036	4.9	1.7 (1.3)
美術・宝飾・貴金属	28,953,146	5.2	14.2 (13.5)
その他雑貨	19,380,943	3.5	0.0 (-0.2)
雑 貨	75,987,125	13.6	5.6 (5.2)
家 具	7,203,159	1.3	-0.5 (-1.5)
家 電	1,490,051	0.3	-19.5 (-19.5)
その他家庭用品	17,473,740	3.1	0.7 (0.5)
家 庭 用 品	26,166,950	4.7	-1.1 (-1.5)
生 鮮 食 品	35,714,597	6.4	-1.3 (-1.6)
菓 子	42,121,665	7.5	-0.5 (-0.9)
惣 菜	32,799,817	5.9	-0.2 (-0.5)
その他食料品	67,341,861	12.0	-2.7 (-3.0)
食 料 品	177,977,940	31.8	-1.4 (-1.8)
食 堂 喫 茶	16,521,579	3.0	2.1 (1.5)
サ ー ビ ス	5,427,998	1.0	-1.8 (-1.9)
そ の 他	10,208,001	1.8	1.2 (-0.2)
商 品 券	25,571,463	4.6	-5.7 (-6.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.4% (店舗数調整後/7か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -4.6% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.4	-0.9	7か月ぶりマイナス
札幌	-3.2	-0.1	3か月ぶりマイナス
仙台	-5.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
東京	-1.0	-0.2	7か月ぶりマイナス
横浜	-2.7	-0.2	5か月ぶりマイナス
名古屋	-0.1	0.0	9か月ぶりマイナス
京都	-5.2	-0.2	3か月ぶりマイナス
大阪	2.1	0.3	9か月連続プラス
神戸	-8.1	-0.2	2か月ぶりマイナス
広島	-7.0	-0.2	6か月連続マイナス
福岡	-1.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-4.6	-1.5	2か月ぶりマイナス
北海道	-3.5	0.0	2か月ぶりマイナス*
東北	-6.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-4.8	-0.8	2か月ぶりマイナス
中部	-5.8	-0.2	2か月ぶりマイナス
近畿	-4.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
中国	-2.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
四国	-6.7	-0.1	3か月ぶりマイナス
九州	-3.2	-0.2	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が9か月連続のプラス。衣料品、家庭用品、食料品が3か月ぶり、身のまわり品が9か月ぶりのマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が11か月連続、化粧品が5か月連続、その他雑貨、その他家庭用品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.5	-	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-7.6	-0.5	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-7.5	-1.7	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-12.4	-0.3	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-0.7	0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	-7.3	-2.5	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	-2.3	-0.3	9か月ぶりマイナス
化粧品	1.7	0.1	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	14.2	0.6	11か月連続プラス*
その他雑貨	+0.0	0.0	2か月連続プラス*
雑貨	5.6	0.7	9か月連続プラス
家具	-0.5	0.0	6か月ぶりマイナス
家電	-19.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	0.7	0.0	2か月連続プラス
家庭用品	-1.1	0.0	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.3	-0.1	16か月連続マイナス*
菓子	-0.5	0.0	7か月ぶりマイナス*
惣菜	-0.2	0.0	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-2.7	-0.3	2か月ぶりマイナス*
食料品	-1.4	-0.5	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	2.1	0.1	9か月連続プラス
サービス	-1.8	0.0	3か月ぶりマイナス
その他	1.2	0.0	7か月ぶりプラス
商品券	-5.7	-0.3	29か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年8月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,393億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/7か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.6%(90.1%) : 非店頭-4.2%(9.9%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成25年6月対比-1店)
5. 総店舗面積	875,636㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	19,213人 (前年同月比:0.4%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 0.3%、1-3月 3.2%、2-4月 3.8%、 3-5月 4.6%、4-6月 5.6%、5-7月 4.3%

[参考] 平成24年7月の売上高増減率は-1.0% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

- (1) 東京地区も前年割れだが、増床・改装効果の大きい複数の店舗があることから、-1%とほぼ前年並みに収まった。また、変動要素をならした6月・7月累計では、+3.9%と依然高い伸びを示している。
- (2) 衣料品が低調な中、涼感寝具やゆかた等を含む「その他衣料品」は+3.8%と健闘した。例年に比べて、暑さ対策・盛夏需要が高まっていることが背景にある。
- (3) 「中元商戦」の6月・7月通期業績は、ほぼ前年並みの結果であった。全国同様に、商戦前半が好調で後半から減速したこと、ネット受注の伸びで店頭をカバーしたことなどが報告されている。
- (4) 住宅市場の活況を背景に、「家具」が+4.7%と大幅な伸びを見せている。店によって売れ行きにバラツキがあるものの、およそ半数の店で前年実績をクリアした。また12か月連続プラスの「化粧品(+5.5%)」、及び7か月連続プラスの「美術・宝飾・貴金属(+18.6%)」は、共に大幅増となった。
- (5) 東京地区の8月中間段階での商況は、概ね5%~6%増で推移している。引き続き宝飾・高級時計などの「高額品」が好調であるほか、連日の猛暑により、帽子、サンダル、ストール、サングラス、日傘、UVコスメなどの「盛夏商材」も活発に動いている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 6店、③減少した: 7店
- (3) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 3店、③減少した: 9店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年07月

※店舗数調整後（ ）が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	139,361,874	100.0	-1.0 (-1.6)
紳士服・洋品	10,458,123	7.5	-2.1 (-2.4)
婦人服・洋品	28,173,844	20.2	-4.8 (-5.5)
子供服・洋品	2,038,044	1.5	-10.4 (-10.6)
その他衣料品	3,138,906	2.3	3.8 (3.4)
衣 料 品	43,808,917	31.4	-3.8 (-4.4)
身のまわり品	18,616,844	13.4	-2.0 (-2.3)
化粧品	6,942,568	5.0	5.5 (5.0)
美術・宝飾・貴金属	8,278,449	5.9	18.6 (18.2)
その他雑貨	5,986,335	4.3	1.7 (1.3)
雑 貨	21,207,352	15.2	9.1 (8.6)
家 具	2,152,315	1.5	4.7 (1.5)
家 電	792,457	0.6	-7.4
その他家庭用品	4,564,699	3.3	1.7 (1.4)
家 庭 用 品	7,509,471	5.4	1.5 (0.4)
生 鮮 食 品	6,184,697	4.4	-2.4 (-3.0)
菓 子	10,173,058	7.3	-3.3 (-4.1)
惣 菜	7,569,357	5.4	-0.3 (-1.0)
その他食料品	15,272,216	11.0	-5.1 (-5.4)
食 料 品	39,199,328	28.1	-3.3 (-3.9)
食 堂 喫 茶	3,597,830	2.6	4.1 (1.7)
サ ー ビ ス	2,176,356	1.6	-5.1
そ の 他	3,245,776	2.3	6.7 (1.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	4,941,721 千円	-7.0 (-7.5)
従 業 員 数	19,213 人	0.4
店 舗 面 積	875,636 m ²	-3.9

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が5か月連続、家庭用品が4か月連続のプラス。食料品が2か月ぶり、衣料品が6か月ぶり、身のまわり品が9か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が12か月連続、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、その他衣料品が4か月連続、その他家庭用品が3か月連続、その他雑貨が2か月連続のプラス、家具が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.0	-	7か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-2.1	-0.2	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-4.8	-1.0	6か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-10.4	-0.2	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	3.8	0.1	4か月連続プラス
衣料品	-3.8	-1.2	6か月ぶりマイナス
身のまわり品	-2.0	-0.3	9か月ぶりマイナス
化粧品	5.5	0.3	12か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	18.6	0.9	7か月連続プラス*
その他雑貨	1.7	0.1	2か月連続プラス*
雑貨	9.1	1.3	5か月連続プラス
家具	4.7	0.1	2か月ぶりプラス
家電	-7.4	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	1.7	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	1.5	0.1	4か月連続プラス
生鮮食品	-2.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
菓子	-3.3	-0.2	4か月連続マイナス*
惣菜	-0.3	0.0	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-5.1	-0.6	3か月ぶりマイナス*
食料品	-3.3	-1.0	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	4.1	0.1	9か月連続プラス
サービス	-5.1	-0.1	4か月連続マイナス
その他	6.7	0.1	3か月連続プラス
商品券	-7.0	-0.3	27か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>